



／ ラマダンが終わったその後は？ ／

3月23日から始まったラマダンも、4月21日に終了しました！30日間の断食を終え、ようやく普段の日常！…と思いきや、特別な日々がまだ続く？！ラマダンのその後について紹介していきます。

ラマダンが終わると、4日間の「イードアルフトウル」というお休みになります。その初日の朝には、モスクや広い場所に集まってお祈りをします。（日本でいうと、お正月の初詣を想像してもらおうと分かりやすいかもしれません。）家の近くのサッカー場には、朝6時頃から人が集まり、約1時間半お祈りや挨拶をしていました。後日、同僚に聞くと、そこでは男女が分かれて座り、お祈りをした後にクッキーやチョコレート、コーヒーを振舞い合い、ラマダンの終了のお祝いをしたそうです。



マアムール
معمول



ここでも、特別なお菓子登場！その名も「マアムール」というクッキーです。サクッとほろっとした生地の中に、ほどよい甘さのしっとりとしたデーツ（なつめやしの実）ペーストが入っていて、コーヒーによく合います。ラマダン明けに特によく食べられ、私もたくさんいただきました。

家に帰ってからは、親戚に挨拶をして回ったり、お墓参りに行ったり、朝食をゆっくりと食べたりするそうです。初日の朝食は、胃に負担が少ないようにと魚料理を食べるという人もいました。ただ、魚は苦手という人も多いので、家庭によって異なるようです。



子どもたちは、日本のお正月のお年玉のようにお金をもらい、新しい服を買ってもらったり、髪を切ったりしていました。驚いたのは、休日の前

から学校を休んでイードの準備をする子が多かったこと、そして前日に学校へ登校した子はたった2、3人だったことです。（ただ、授業にならないので、登校後帰宅するように指示が出ました。）日本ではなかなか見ない光景でした。



普段なら子どもでいっぱい運動場も
この日は先生だけで朝礼をしました。



イード明けの学校では、子どもたちが新しく買ってもらった服を着て、とても嬉しそうに登校してきました。私は全く知らなかったのですが、「かわいい服だね〜。どうして?」と子どもたちに尋ねると、「今日はパーティだから!」と教えてもらいました。



新しい洋服にウキウキ



アサーシーエ小学校では、バルーンの遊具や、演劇、ポップコーンの配布がありました。普段経験できないことに子どもたちはとても喜んでいました。

指の先もハンナでおめかし♪



この行事の様子が学校のFacebookで紹介されています。見られる方は、ぜひご覧ください。

Scan me



حناء

読み方：ハンナ/ハンナ/ヘナ

Let's talk in Arabic ♪

先ほど紹介したハンナ（حناءヘナ/ヘナ）とは、一体…何？

それは、主にマニキュアやタトゥーとして古代から使われてきたハーブのことで、なんとあのクレオパトラも使っていたとか?! 結婚式やパーティなどのお祝いの場面が多く使われるようで、細く絞りだして模様や絵を描き、爪や肌を染めます。長持ちすると1~2週間、色が落ちないこともあるそうです。私も結婚式に招待してもらった時に少し塗ってもらいました。しばらくどんなに洗っても落ちなかったので、植物の力ってすごいなあと驚きました。

他の国でも使われている国があります!

覚えておけば、使える国は多いはず♪



では、また次回! مع السلامة